



武田尾温泉地区現況



改修前の温泉地区

2014/04/16



付け替えられた僧川

2017/05/21



武田尾住宅地区嵩上げ工事中の僧川合流点

2015/12/13



武田尾住宅地区現況

2017/05/21



武田尾住宅地区護岸復旧工事の様子

2015/12/13

福知山線廃線敷がハイキング道として解放され、休日の福知山線乗客は名塩や武田尾殆ど下車。道場で下車したのは、ほんの数名。何時もならハイキング客で賑わう駅前も誰もいない。駅前の店で話を聞くと、ハイキング道解放後ハイキング客は全くいない。武田尾鉄橋を残してくれたら道場まで廃線敷歩けるのにと残念そうに語った。

道場から武田尾への道中誰にも出会うことも無く自然を独り占め。河原にも降りて峡谷の水音にしばし時を過ごす。武田尾温泉地区付近で写生に来た一行に出合った。温泉地区の改修工事を知らずに来てガッカリしたと残念がっていた。住宅地区嵩上げ工事僧川付け替え工事も殆ど終わりを迎え、真っ新になった僧川に橋が架かり、迂回せずにトンネル歩きに向かえる。仮設トイレもあって、本当に気軽にハイキングが楽しめるようになり。対向者が「人多いから懐中電灯いらんで」と教えてくれた。赤ん坊づれ・二本杖のお年寄り・犬連れと賑やかであった。不眠症の治療、麻酔前投薬に用いられるレンドルミン錠の落とし物。安全になったら多様な客がきてトンネル曇りがいなくなった。



川下側合流点右岸 現状

川下川合流点右岸 崩落直後



小松工区護岸改修終了

小松工区改修前 川よりの松一本と雑木がなくなった。



鋼製魚道設置直後

現況 甲武橋水位 0.71m 設置当時より若干水位が高い。

改修工事は豊水期を目前にしてほぼ終了した。しかし、川下川合流点付近右岸側の斜面崩壊現場は手つかずのままになっている。崩れた斜面には緑が戻り崩落は一段落して安定してきた感じがする。道場から生瀬間の両岸は急峻な崖地になっており、武田尾温泉地区の大規模な山腹補強工事・住宅地区の左岸側谷でも大規模な堰堤工事が行われているのを見ると、見かけより脆く何時崩れても不思議ではないような印象を受ける。

小松工区は比較的小規模な工事で直ぐに終わるものと思っていたが、豊水期を前にして漸く終わりを迎えた。素人目で誤りもあろうが、地下水の塩水浸透対策の矢板打ちは潮止め武庫大橋に達したように見受けられ、次は潮止め堰撤去工事の準備が整ったのではないかと推測出来る。潮止め堰は1月から半転倒状態が続き5月8日阪神橋梁底で塩分8‰検出した。1回の調査でなんととも言えないが、1号堰付近まで塩水遡上しているものと推測出来る。芸術的な鋼製魚道をアユが理解してくれたのかどうか分からないが、流量が極単位少なくなりと使ってくれるかも知れない。